



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
 コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	5,206		141		139		43	
2019年6月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 43百万円 (%) 2019年6月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	4.24	
2019年6月期第2四半期		

(注) 当社は、2019年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	4,149		1,842			44.0
2019年6月期	4,083		1,868			45.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 1,824百万円 2019年6月期 1,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		7.50	7.50
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,506	6.0	341	16.0	339	9.9	143	11.4	14.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年6月期業績予想につきましては、2020年2月7日公表の「業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	10,550,400 株	2019年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	325,662 株	2019年6月期	325,662 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	10,224,738 株	2019年6月期2Q	10,224,738 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復傾向が続いておりましたが、米中貿易摩擦をはじめとした通商問題や、台風等による自然災害の影響等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当外食業界におきましては、景気回復に伴い、高価格帯商品にシフトする消費者志向の変化が見られたものの、個人消費の節約志向に加え、アルバイト時給単価の上昇に伴う人件費関連コストの増加、台風等による自然災害の影響、10月の消費税率引き上げ等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社ブランドの更なる認知度向上を企図し、当期は8店舗の新規出店と1店舗の業態変更を行いました。

2019年7月、京都・嵐山に高級茶葉を使った日本初のティーラテ専門店ブランド「CHAVATY (チャパティ)」の2号店として「CHAVATY Kyoto arashiyama」を、東京・表参道に「いしがまやハンバーグ」初のグローバル旗艦店「いしがまやGOKU BURGER」を出店し、翌8月、主要ブランドである「KICHIRI」の新店「KICHIRI misceo」を東京・町田に出店いたしました。さらに9月には、新業態であるフードカーのたいやき専門店「たいの八」を新宿Flags1階エントランスにリニューアルオープンいたしました。

そして2019年10月、静岡県沼津市の三井ショッピングパークらぼーと沼津内に、ハンバーグ専門店の「いしがまやハンバーグ」、オムライスを提供する「3 Little Eggs」、かつめし専門店の「かつゑもん」、新業態である焼き鳥専門店「ひな鶏 伊勢ゐ」の計4店舗を出店いたしました。静岡県への出店は当社初となり、これで出店地域は1都2府8県となりました。

さらに2019年11月には、神奈川県JR茅ヶ崎駅直結のショッピングセンター「ラスカ茅ヶ崎」に「いしがまやハンバーグ」を出店し、当期において当社の店舗数は100店舗を突破する運びとなりました。今後も多様化するニーズに対応するために、新規出店及び業態の開発を進めてまいります。

プラットフォームシェアリング事業については、外食企業向けの更なるプラットフォーム強化を進めると共に、異業種のブランドホルダーに対する出店支援コンサルティング業務の提供も増加しており、今後につきましても、あらゆる可能性を模索しながら、事業の拡大に努めたいと考えています。

フランチャイズ事業については、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っており、今後も同社施設内への継続的な新規出店を進めるとともに、新規のクライアント開発も積極的に行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、5,206百万円、営業利益141百万円、経常利益139百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円となりました。

なお、当社グループは前連結会計年度の第3四半期連結会計期間より連結決算に移行しました。そのため、前年同期において四半期連結財務諸表を作成していないことから、対前年同期との比較を省略しております。また、当社グループはセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は4,149百万円となり、前連結会計年度末と比較して65百万円増加しております。

流動資産合計は1,557百万円となり、前連結会計年度末と比較して175百万円減少しております。減少の主な要因は、配当金の支払等により現金及び預金279百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は2,591百万円となり、前連結会計年度末と比較して241百万円増加しております。増加の主な要因は、建物が191百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,306百万円となり、前連結会計年度末と比較して92百万円増加しております。

流動負債合計は1,332百万円となり、前連結会計年度末と比較して35百万円増加しております。増加の主な要因は買掛金が84百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は974百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円増加しております。増加の主な要因は、長期借入金が77百万円減少したこと、及び長期前受収益が135百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,842百万円となり、前連結会計年度末と比較して26百万円減少しております。減少の主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加43百万円があった一方で、配当金の支払により、利益剰余金が76百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月5日の「2019年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年2月7日公表の「業績予想値と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	963,389	684,224
売掛金	173,567	266,244
原材料及び貯蔵品	74,426	84,068
その他	521,894	523,225
流動資産合計	1,733,277	1,557,762
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,076,339	1,268,130
その他(純額)	177,730	177,810
有形固定資産合計	1,254,069	1,445,940
無形固定資産	782	737
投資その他の資産		
投資有価証券	127,438	155,549
差入保証金	781,184	798,843
その他	187,349	191,147
貸倒引当金	△774	△784
投資その他の資産合計	1,095,199	1,144,756
固定資産合計	2,350,051	2,591,435
資産合計	4,083,329	4,149,197
負債の部		
流動負債		
買掛金	249,875	334,700
1年内返済予定の長期借入金	183,905	173,332
未払法人税等	82,467	62,735
株主優待引当金	9,343	17,421
その他	771,282	744,074
流動負債合計	1,296,874	1,332,264
固定負債		
長期借入金	888,454	811,181
資産除去債務	20,466	20,538
その他	8,867	142,959
固定負債合計	917,787	974,678
負債合計	2,214,661	2,306,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,530	381,530
資本剰余金	364,614	364,614
利益剰余金	1,225,985	1,192,644
自己株式	△113,857	△113,857
株主資本合計	1,858,273	1,824,931
新株予約権	10,393	17,323
純資産合計	1,868,667	1,842,254
負債純資産合計	4,083,329	4,149,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,206,492
売上原価	1,422,383
売上総利益	3,784,108
販売費及び一般管理費	3,642,266
営業利益	141,841
営業外収益	
受取利息	0
受取保証料	350
還付加算金	1,022
営業外収益合計	1,373
営業外費用	
支払利息	961
支払手数料	1,365
その他	1,198
営業外費用合計	3,525
経常利益	139,690
特別損失	
減損損失	28,485
その他	2,007
特別損失合計	30,492
税金等調整前四半期純利益	109,197
法人税、住民税及び事業税	59,709
法人税等調整額	6,144
法人税等合計	65,854
四半期純利益	43,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,343

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	43,343
その他の包括利益	-
四半期包括利益	43,343
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	43,343
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	109,197
減価償却費	100,445
減損損失	28,485
長期前払費用償却額	1,489
株式報酬費用	6,929
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	8,077
受取利息	△0
支払利息	961
売上債権の増減額 (△は増加)	△92,676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	84,825
未払費用の増減額 (△は減少)	62,160
前受収益の増減額 (△は減少)	△25,062
長期前受収益の増減額 (△は減少)	135,316
前受金の増減額 (△は減少)	△15,696
預け金の増減額 (△は増加)	△23,790
預り金の増減額 (△は減少)	△17,474
その他	15,213
小計	368,770
利息の受取額	0
利息の支払額	△961
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△47,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△331,458
投資有価証券の取得による支出	△40,137
投資有価証券の清算による収入	10,018
貸付けによる支出	△30,000
差入保証金の差入による支出	△33,261
差入保証金の回収による収入	12,471
長期前払費用の取得による支出	△16,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△87,846
リース債務の返済による支出	△6,694
配当金の支払額	△76,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△279,164
現金及び現金同等物の期首残高	963,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	684,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「飲食事業」、「プラットフォームシェアリング事業」及び「フランチャイズ事業」を行っております。当社グループの報告セグメントは「飲食事業」のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。